

本特集の編集が行われている現在、国内のコロナ禍は未だ収束せず、とくに都市圏での透析医療には大きな緊張が強いられている。このようななかで、筆者は今の状況が東日本大震災・原発被害と似たものがあると感じている。共通するのは、脅威が見えないものであること、過去に経験したことがないことである。このために人々は多大な不安とストレスをもち、感情的・破壊的になる。マスコミでもさまざまな分野の人々が実にさまざまなコメントを発していた（いる）のも両者に共通することで、自身のストレス発散のための発信と言ったら言い過ぎだろうか。一方で、課題への対応にも共通点がある。科学的・客観的事実を根拠に適正に行動するように努めていることであ

る。これにより人々は冷静に次の創造的な行動目標を設定できるようになる。これはストレスを乗り越えるための本能だと筆者は思う。

生体はストレスに対する反応を強化することでストレス障害を軽減・抑制するシステムを有している。慢性腎臓病・透析患者における酸化ストレスの問題も同様であり、酸化マーカーだけの動きに視点を限定しては全体像を見誤ってしまう危険もあるだろう。バランス感覚を鈍らせないで世界と疾病を捉えることが新たな可能性を開くものと思う。先週、福島・相馬の蛸を食した。実に美味かった。

(中山 昌明)

2020年(Vol. 36)特集のご案内

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| No.① 透析患者の感覚器障害 | No.⑩ 透析患者における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) |
| No.② 透析液・透析関連排水の諸問題 | ・透析患者の ADL と QOL |
| No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making | — その評価法と対策 |
| No.④ 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療 | No.⑪ 高齢透析患者の療養生活支援 |
| No.⑤ 近未来の透析医療 | — 事例を通して見えてくるもの |
| No.⑥ 透析患者の脳血管障害 | No.⑫ 慢性腎臓病・透析患者の酸化ストレス |
| No.⑦ 透析患者 PAD の最前線 | — 最新知見と治療展開 |
| No.⑧ バスキュラーアセス | No.13 高齢透析患者の栄養管理 |
| — トラブルを少なくするために | |
| No.⑨ 血液浄化機器 2020〔増刊号〕 | |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.12

© 2020 年 11 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541